

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	2		・感染対策も出来るようスペースだけでなく 児の向きも工夫している。 →スペースは限られるため工夫を行ってい
	2	職員の配置数は適切であるか	6	3	1	・児とスタッフが1:1だとケアや活動の準備 が難しい →設置基準の配置人数以上の人員配置を おこなっている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	10	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい るか	5	5	1	・MTGで話し合う時間が設けられてきている ・適宜改善はしているが、改善提案のスタッ フが限定されている →MTGを週1回実施し、zoomを導入した
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげているか	6	5		・今回初 →今年度より行う
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか	3	6	1	・今後実施予定 →表記の通り
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか	1	8	1	・今後実施予定 →第三者委員会の設置は行っている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	10	1		・施設内で研修の案内はされている →施設内、外の研修は積極的に行う予定
適切な支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している か	10	1		・多職種で連携している →表記の通り
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標 準化されたアセスメントツールを使用してい るか	3	5	3	・個別性が高いため標準化されたアセスマ ントは行っていない ・標準化されているものの使用はないが、観 察評価が多い →医療的ケアが必要なお子様が多いため標 準化されたアセスメントツールは用いない
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい るか	7	4		・多職種で立案を行っている →表記の通り
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ているか	8	3		・検討中 ・行いつつある →MTGで多職種相談の上決定する
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	8	3		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成しているか	10	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認しているか	11			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付 いた点等を共有しているか	10			
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	1			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8	3		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	2	1	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	1		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	10		1	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	5	2	・行なえているところは行えると思われる ・行うと思われる →卒園した保育園等の許可があれば訪問し情報共有していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	7	2	当該生徒が現在はいない →利用者が小学校低学年であるため将来的には情報提供を行う
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	5	2	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		6	4	・コロナ禍での活動は難しい →表記の通り
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	7	2	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	5	1	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	2		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	2		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4	6	・未開催 →保護者のご希望なし、またコロナ禍蔓延防止のため実施予定なし

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	1		
	35	個人情報に十分注意しているか	10	1		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	2		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	6	4	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	5		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	2	1	拘束は行わない →やむを得ず行う場合は保護者の同意を得て実施する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	2		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	2		